

身近な電子機器の原理を解き明かすおもしろさ 量子コンピュータの実用化を見据え、専門知を深める



理工学部 電気電子工学科3年

能見 康太郎 (神奈川県立光陵高等学校出身)

本学科での学びは未来を切り開く可能性とロマンに満ち溢れています。「電気物性学II」で量子力学や超伝導について学び、さまざまな装置や機器のメカニズムを理解できたときの高揚感は忘れられません。学んだ原理を応用して新しい技術を生み出す力を養うために、普段から講義を録音して復習し、実験結果の考察も講義で得たさまざまな知識を結びつけて考えるようにしています。特に現在は量子電子デバイス分野の授業を履修し、物性に関する知識をより深めています。将来の目標は、量子コンピュータの実用化や没入型VR技術の発展に寄与することです。まだまだ課題の多い分野ですが、本学科で培った専門知を駆使し、新たな可能性を切り開けると確信しています。